

獨協総診

「診断戦略」「愛され指導医」「^(獨)ドクターG」

1195床の圧獨的な診断困難コンサルト

独自の最新EBMクラウド共有システム

獨創的アカデミック総診サポート[論文・学位]

診断思考プロセスの徹底訓練・カンファレンス

Monthly 50 Journals Update プロジェクト

オンもオフも充実「早く帰ろうぜ」システム

他科とのグラウンド回診・カンファレンス・交流会

スタッフクラスがさらに向上する総合診療の登竜門

ジェネラル臨床力+リサーチ力+教育者力

獨協総診はまだ始まったばかりですが、若い総診メンバーが中心となり、全身を横断的・俯瞰的に見て包括的に患者さんの人生と向き合っていくという総合診療の楽しさや、診断思考・スキルのアートの徹底訓練とQIの観点からのエビデンスの標準化、そして医師として必要なビジネススキルの導入など、医師の総合力のスキルアップを現場で行っています。また、今後は現場での症例を通じた発見や気づきを経験のみに留めず、エビデンスとして発信するリサーチ活動も行っていく予定です。「ここに来れば学生も、研修医も、そしてスタッフもそれぞれ身に着けられる」そして、「若いチームで志ある若手たちがポジティブな雰囲気の中集まって研鑽しあい、臨床・教育・研究のすべてにおいてそれぞれスキルを磨き合っている」そんな現場教育モデルを獨協総診チームは提示していきます。

また、同じく栃木県内でこれまで総合診療を熱心に牽引されてきた栃木県内の各施設の先生方とも連携させていただき、栃木が日本における総合診療の一大拠点のひとつになっていくこと

に貢献できればよいと願っています。

同時に日本における総診の教育拠点のひとつとして、栃木県を地図上のクロスの交点とした列島横断ベルト、列島縦断SASHという“日本総診活性化プロジェクト”を通し、他施設の先生方との連携も力を入れていく予定です(連携施設募集中です!)

いつも変化は中央ではなく、地域から始まります。

獨協総診はこのように教育規模のセグメントごとに、獨協学内を本丸とし、同時に栃木県内、そして日本の各施設の先生方とも連携し、また大学病院の立ち位置から日本における総合診療がさらに発展していくように目を向けて頑張りたいと考えています。

獨協医科大学病院総合診療科 総合診療教育センター
診療部長・センター長 志水 太郎

詳しくは「獨協総診」のウェブサイトをご覧ください

獨協総診

検索

